

# 景子の神奈川行脚

## 【12月】

- 1日 少年野球大会閉会式、茅ヶ崎革新懇10周年パーティ、演劇鑑賞会
- 2日 おひさま保育、本会議
- 3日 本会議、JR総連神奈川県協議会
- 4日 茅ヶ崎朝駅頭、本会議、民主党県議会忘年会
- 5日 茅ヶ崎朝駅頭、市民相談、ドットジェイピーとの懇談
- 6日 本会議
- 9日 本会議
- 10日 養護施設訪問、おひさま保育
- 11日 茅ヶ崎朝駅頭、市民相談、おひさま保育、映画会「命のことづけ」
- 12日 建設常任委員会、ライオンズクラブ理事会
- 13日 社会問題対策特別委員会、女性議員の会
- 14日 WE21ジャパンちがさき会議、自治労居住者会議、TAJ街頭活動
- 15日 少年野球大会閉会式、中海岸みこし保存会総会
- 16日 ブラック企業対策講演会
- 17日 政調会、部会長会議、建設常任委員会
- 18日 WEショップ当番、忘年会
- 19日 おひさま保育、団会議、民主党懇談会
- 20日 本会議、全国フェミニスト議員連盟世話人会
- 21日 子宮頸がんワクチン被害者の会交流会、湘南シニアクラブ忘年会  
茅ヶ崎日中友好協会忘年会
- 22日 保育士セミナー
- 24日 茅ヶ崎朝駅頭、市民相談、楽器練習サークルクリスマス会
- 25日 茅ヶ崎朝駅頭、県政報告ニュース配布、公契約条例協議会  
乃羽バレエクリスマス公演
- 26日 茅ヶ崎朝駅頭、大掃除、民主党県連神奈川フォーラム
- 30日 県政報告ニュース配布
- 31日 県政報告ニュース配布、全国フェミニスト議員連盟打ち合わせ

## 【1月】

- 1日 県政ニュース配布、神社初詣
- 2日 県政ニュース配布
- 7日 商工会議所賀詞交換会、民主党神奈川女性議員ネットワーク総会  
連合神奈川新年会
- 8日 茅ヶ崎朝駅頭、演劇鑑賞会会議
- 9日 虐待予防研修会、神教組新年会
- 10日 茅ヶ崎朝駅頭、団会議、県庁賀詞交換会、県自治労新年会、情報労連新年会
- 11日 WE21ジャパンちがさき会議、JR東日本労組旗開き
- 12日 出初式、柳島新年会、鶴が台団地新春のつどい、みこし保存会新年会
- 13日 高南マラソン出発式、成人式、新年会
- 14日 女性議員パワーアップ講座、予算説明会
- 15日 経産省申し入れ、生活クラブ新年会、連合街頭、青年会議所新年会
- 16日 茅ヶ崎朝駅頭、建設業新年会、保険医協会新年会
- 17日 県トラック協会新年会、デイサービス寿楽視察、政調会  
全国フェミニスト議員連盟世話人会
- 18日 学童クラブ研修会(子ども子育て制度)、あべともこ新春の集い
- 19日 JR東日本労組小田原支部旗開き、くさか景子新春の集い
- 20日 市民相談、警察相談、岸正明新春の集い
- 21日 おひさま保育、料理を楽しむ会、政調会、湘南地域連合新年会
- 22日 福島第2原発視察、湘南教組旗開き
- 23日 マミーズ相談、市職労旗開き、ライオンズクラブ定例会
- 24日 ヤクルト会社ツアー、青少年問題協議会、県社会保険労務士会新年会  
おひさま保育舎新年会
- 25日 海岸地区新年会、ドットジェイピー面接、薬剤師会新年会
- 27日・28日 沖縄視察
- 29日 沖縄視察、県民運動委員会
- 30日 おひさま保育、WEショップ当番
- 31日～2日 民主党建設部会九州視察

## 【2月】

- 2日 茅ヶ崎日中友好協会新年会
- 3日 おひさま保育、節分祭、ライオンズクラブ賀詞交換会
- 4日 市役所安全祈願祭、ミーティング、おひさま保育
- 5日 茅ヶ崎朝駅頭、街頭広報活動、連合神奈川街頭活動
- 6日 茅ヶ崎朝駅頭、マミーズ支援、団会議、予算説明、ライオンズクラブ定例会
- 7日 茅ヶ崎朝駅頭、WEショップ当番、福島復興支援ツアー
- 8日・9日 福島復興支援ツアー
- 13日 政調会、本会議、議案説明、ライオンズクラブ理事会
- 14日 議案説明会、予算理事会、子育て勉強会
- 15日 保育士試験講座
- 16日 貯留管トンネル視察、市長新年会、映画会「もったいない」
- 17日 団会議、本会議、予算委員会
- 18日 おひさま保育、本会議、子育て講演会
- 19日 市との懇談、本会議、市民相談
- 20日 進和学園視察、映画会、不育症講座、ライオンズクラブ
- 21日 政調会、本会議、民主党県連新春の集い
- 22日 平塚児童相談所竣工式、おひさま保育、湘南シニアクラブ
- 23日 避難者交流会
- 24日 本会議
- 25日 本会議
- 26日 子育て3法勉強会
- 27日 ライオンズクラブ、演劇鑑賞会
- 28日 建設常任委員会



湘南ロボケアセンター

(画像: 神奈川県記者発表資料より)



## くさか景子のバスツアー

### 生活支援ロボット視察見学といちご狩り



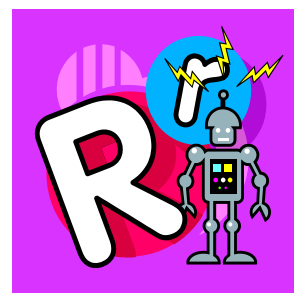
メンタルロボット

- ◆日時 2014年4月23日(水)  
午前 7:30 集合 8:00 出発 17:00 頃茅ヶ崎着
- ◆集合場所 茅ヶ崎市役所分庁舎と市民文化会館の間の道に集合
- ◆見学スポット 大和ハウス工業ロボット事業(東京)・ホテルランチブッフエ  
湘南ロボケアセンター・いちご狩り
- ◆募集人数 45名(申し込み順)
- ◆参加費用 4,000円(いちご狩り料金、昼食代、保険料、当日ご持参ください)

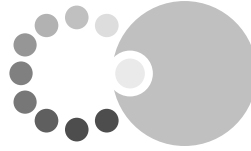
#### 【申し込み・問い合わせ先】

◇神奈川県議会議員 くさか景子事務所

TEL&FAX 0467-58-0290 e-mail:future@grace.ocn.ne.jp



# 神奈川県議会議員 くさか景子の県政報告



発行責任者 神奈川県議会議員 くさか景子 民主党・かながわクラブ 県議団  
 連絡先 くさか景子事務所  
 〒253-0043 茅ヶ崎市元町 3-17 村田ビル 202  
 Tel&Fax 0467 (58) 0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp  
 http://keikokusaka.fc2rs.com/



くさか景子のハチドリのひとつ

## 第一回3月県議会定例会報告 2月13日～3月25日

### 県14年度予算 過去最大 一般会計 1兆8650億円 (13年度比5.8%増)

#### 内訳

- 歳入の6割を占める県税は7.7%増(778億円)1兆901億円
- 企業法人2税8.4%増
- 4月より消費増税に伴い28%増
- 緊急財政対策より3年分1495億円増
- 税収増により地方交付税25%減450億円となります。
- 県債は4.2%減ですが残高は3兆6991億円
- 一般会計の2倍 県民一人当たりは40万7218円となっています。

#### 政策的経費10.3%増 3416億円

- 14年度主な事業 健康・子育て・ロボット・エネルギー
- ライフイノベーション特区 ライフサイエンス分野のグローバル企業集積
- さがみロボット産業特区 鉄腕アトムイメージキャラクター 湘南ロボケアセンター
- 子育て支援新制度に向けて 認可保育園移行支援 学童クラブ補助
- 未病(病気を未然に防ぐ)センター設置

#### 消費税率引き上げ分

- 14年度県見込み 174億円 社会保障経費に使われます。
- 保育所運営支援など子ども子育て支援の充実
- 診療報酬の改定など医療・介護の充実
- 【コメント】
- 毎年財源不足を懸念していた知事。任期最終年4年目は税収が伸び、追い風となり、再生可能エネルギーやヘルスケア分野を盛り込んだ過去最大の予算となりました。

#### くさか景子のほっとコラム

議員定数 2減 105人

県議会は2015年春の統一地方選に向けて定数を検討し、8つある「常任委員会中心」に基づき算出しました。定数の見直しは1999年115人から107人、今回2015年107人から105人と戦後2回目、川崎市川崎区3→2、横浜市青葉区4→3となります。

政令市の県議の不要論もありますが、今の法律では難しく、無理に削減すると1票の格差が生じてしまいます。

私は、議員は多様な民意を反映する代表であり、少なければよいとは思っていません。民主主義を反映し、地域の多様な課題を解決するためには、議員の役割は大きく議員活動の充実が求められます。



西丸武進 福島県議会議員と

東日本大震災から3年、  
大雪の福島県浪江町へ！

2月7日～9日

福島県から神奈川県に避難している人は、約1800人、茅ヶ崎市には70人くらいの方が住んでいます。今回の福島の旅は、浪江町から茅ヶ崎に避難しているYさんの自宅への一時帰宅に付き添いました。

途中、放射能測定器で線量を計りながら行きました。出発地茅ヶ崎0.05マイクローンベルト、東京0.03、いわき市0.09、福島第2原発と第1原発途中2回の検問を受けたこの辺りは9.9以上となり測定器は振り切れました。そして浪江町に入ると0.13くらいに落ちましたが線量は高めでした。

浪江町は、福島第1原発から半径30キロ圏内で、人口は約1万8千人、全世界が避難、帰宅困難、居住制限、避難指示解除準備地域と分かれています。

当日は、福島県議の西丸さんと浪江町議の渡辺さんに海岸地域を案内していただきました。浪江町にこんなに雪が積もったのは初めてというくらいに珍しい大雪。津波被災地の海岸まで行くと3年経とうというのにガレキがそのままです。雪に埋もれてはいませんが、船もそのまま残っていました。放射能の影響で、片付けが進まず、未だ74の方が行方不明となっています。

岩手や宮城は、土台も片付けられて、災害復興住宅も進む地域もあるのに、

福島は手がつけれない状況です。

とりの大熊町では除染の中間貯蔵施設ができるということですが、浪江の分は受けてくれません。がれき処理も終わらず、除染後の処理土の袋も田んぼに山積みそのままです。

浪江町でとったアンケートでは、18%が帰りたい、37.5%が帰らない、残りの方は除染の効果を見てから考えるという結果が出ているそうです。

町では、復興まちづくり計画が策定されようとしています。その方針は、

まちづくり計画は、町外避難先での生活、町外コミュニティでの生活など様々な暮らしの再建の形がある中で、浪江町内で暮らすという選択肢の一つを示したものです。そのため、この計画をもって町民のみなさんに帰還を迫るものではありません。浪江町に戻りたい方や新たに浪江町に住む方が町内での社会的な活動をスタートさせることが、ふるさと浪江町の再生の第一歩となっていくとの考えとなっています。とのことです。

今回8ヶ月ぶりに我が家に戻ったYさん宅は、3年前のまま時が止まったようでした。いたるところにネズミのふんが大量に発生していました。同行した仲間も掃除するも追いつかない状況で立ち尽くすばかり。胸がつまりました。復興を願うばかりです。

福島復興支援ツアーに参加して

2月7日～9日

下條惇夫

東日本大震災から約3年経ち、復興計画が立てられ、新たなまちづくりが始

まっている。だが、原発事故の影響が大きく、事故の収束が出来ていない。茅ヶ崎市にも東北からの避難者がおられ、今回は、その方と一緒に日下議員と有志が浪江町を訪問した。浪江町では、今でも74名の行方不明者がいるとのこと。町の中は、生活の匂いがなく、ゴースタウンというしか言いようがない。至る所で検問があり、その都度警官がバスに立ち入り、名簿と身分証明証の確認をする物々しい警備だった。

塩谷の灯台に寄ったが雪のため灯台には上ることが出来なかったが、以前来た時には、家もなく、草のみが繁っていたが、今回は、所処に家が建っていた。高台移転と話が出ていても、同じところで生活をしなければならぬ人たちのことを思うと複雑な気持ちになった。政府はもっと心のこもった政策を立てるべきだ。

今回の福島復興支援ツアーで見た現状を一人でも多くの方々に伝え、福島が一日も早く元の生活に戻れることを心から願う。



参加者のみなさんと

茅ヶ崎の環境は今 ②

この冬、相模川河畔林へ野鳥観察会に出かけた。相模川の青く澄み切った上空をカワウの群生が飛び交い、アオサギの美しい姿をはじめ、数々の川辺や河畔林に生息する野鳥を専門家の説明を聞きながら観察した。偶然にも草むらの中から全長1mもあるうかと思われるキジが現れた時の驚きと感動。日本の国鳥でもあるその荘厳な姿は忘れられない。

この平太夫新田は、相模川の河川敷に畑や草地が広がる地域。市内に生息する貴重な植物オドリコソウの自生地でもある。広い草地は生き物たちの棲家であり、広域的な移動空間として重要な役割を果たしている7つのコア地域の一つである。私たちの暮らしは、衣食住から経済・文化・安全まであらゆる場面において、多様な生きものが関わりあう生態系から得られる恵みによって支えられている。わたしたちの命と暮らしを支えている生物多様性を守り、持続可能にしておくことは、私たちだけでなく将来の世代のために必要である。茅ヶ崎も急激に開発が進み、緑地や農地の減少、街路樹の伐採など、自然環境は激減している。それを食い止める方策が急務だ。



河畔林に生息するオドリコソウ

青木洋子

神奈川県議会は本会議と委員会(8つの常任委員会と4つの特別委員会)で構成されており、くさか景子は建設常任委員会と社会問題対策特別委員会に所属しています。

## 建設常任委員会

質問抜粋 3月4日

### 首都直下地震の津波対策

昨年12月内閣府の首都直下地震モデル報告が発表され、県は平成24年に出された「津波浸水予測図」を平成26年度中の見直しを検討しています。これにより沿岸市町はハザードマップを見直しますが、過去の多くの地震からの津波高の想定ばかりで県民にはわかりにくくなっています。津波対策は私たちにとって大変関心があり、海岸や避難路の整備など具体的な対策が求められます。

### 酒匂川下水処理場からの

### シアン化合物流出事故

排水路でコイなど200匹が死亡。流出した有毒のシアン化合物との因果関係は不明とのことだが大きな問題です。人間には影響はないようですが、この事故の原因究明、炉の点検、管理の徹底を求めます。

### 中海岸侵食対策

中海岸では10年間で30万㎡目標砂浜幅50m養浜計画の8年が過ぎました。現在は22万㎡40mまで回復し、着実に効果が現れています。引き続き砂の移動のモニタリングの調査と10年計画の終了後も養浜は続けていただき、さらに相模川の置き砂の実験も効果的に進めてほしいと要望しました。

### 海の家新ガイドライン

昨年はクラブ化や騒音、治安の悪化が問題となった海の家。今年の新ガイドラインは、クラブ化やダンスミュージックの禁止、イベントの事前申請などが盛り込まれました。今夏シーズンは海の家を健全化に取り組んでいただきたい。平成27年以降は海岸全体のあり方、水上バイクやバーベキューごみ問題など海岸利用のルール化に向けて、さらなる安全安心な海岸を目指すよう要望しました。



## 社会問題対策特別委員会

3月7日

### 児童養護施設退所後の子どもの自立支援

平成24年度、県では施設を退所した子どもは501人、社会に出て自立した子どもは政令市を除いて22人います。茅ヶ崎の「つばさの家」自立援助ホームでも支援を行っています。26年度は新たな支援拠点として「あすなろサポートステーション」を設置し相談支援を行います。親にも頼れず初めて社会で自立していくのは困難を伴い、退所後の子どもは離職率も高いということですが、自立に向けて積極的な支援を求めます。



### 自殺対策

全国年間3万人の自殺者は近年2万7千人に減り、県内でも昨年より112人減り1532人となりました。自殺のサインに気づき専門家に繋げる人材「ゲートキーパー養成」が進んでいます。自殺は社会問題であり、あらゆる分野でゲートキーパーが生まれ、地域で気づき見守ることも重要です。

### 傍聴記

3月4日、建設常任委員会を傍聴しました。委員会では、津波対策などの災害に備えたインフラ整備など、私たちが安心して生活を送るための前提条件となるような事柄が話し合われていることが印象的でした。

安心して生活を送るということは、私たちが当たり前前に感じていることですが、この「当たり前」をつくるために、様々な角度から質問がなされ、議論されています。

環境・公害問題についても質問があがりました。環境・公害問題というと、過去の問題、遠い所の問題だとイメージしていましたが、今回、下水処理場でシアン化合物が流出しているという問題が議論されており、身近なところでも公害問題の種をはらんでいる可能性はあるのだと感じました。これを防ぐための議論もまた、私たちの「当たり前」を守るための議論であると思いました。

議員インターン 小関昭仁



予算委員会の様子